

☆クリスマスリースを作ろう☆

当園の市民ボランティア「森の仲間たち」の主催により、松ぼっくりなどの自然素材を使ってリースを手作りします。完成品はぜひおうちに飾ってくださいね！

日時 12月13日(日) 12:45～ 整理券配布
13:00～ 製作開始

※先着45個、要整理券(券がなくなり次第終了)

場所 里のいきもの館 レクチャールームにて
参加費 1個400円(別途要入園料)

～干支「サル」の企画展～

なりきり～♪さるっ!!展

『2016年はさる年!!』

そこで、サルについて楽しみながら知っていただく企画展を開催します。年賀状用や来園記念として写真を撮ったり、親子のふれあいコーナーとしてもご利用いただけます。

開催日：12月5日(土)～2016年1月31日(日)

※期間中の毎週火曜日、12月30日～1日1日は休園

場所：到津の森公園 管理センター2階ロビー

料金：無料(入園料が必要)

天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。
詳しくは、HPもしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

森の仲間たち

「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>



森のお便り 12月号 2015年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」15年12月1日発行 通巻154号

到津の森のクリスマスフェア 12月2日(水)～25日(金)

※フェア期間中の毎週火曜日は休園です！

フェア期間中は、園内にクリスマス音楽が流れ、あちこちにクリスマスの飾り付けが登場します。動物たちにケーキのプレゼントなど、季節ならではのイベントも下記のとおり開催します。動物園で一味違うクリスマスを、あなたも過ごしてみませんか？

☆動物たちにクリスマスのプレゼント☆

12月23日(水祝)・24日(木)・25日(金)

飼育スタッフお手製のケーキをどんなふうに食べるかな？

◆ソウ 各日 11:30～ ◆チンパンジー 各日 12:30～

※25日のチンパンジーは来園者の手作りケーキです。

★以下は、来園者が手作りします。参加者を募集！

◆キツネザルにクリスマスのごちそうをプレゼント

12月19日(土) 13:30～15:00 ※4組限定

◆ウサギとモルモットにクリスマスのごちそうをプレゼント

12月20日(日) 15:00～16:00 ※5組限定

◆チンパンジーにクリスマスケーキをプレゼント

12月25日(金) 10:30～手作り開始 ※5組限定

※上記3イベントとも、12/3～電話にて事前申込受付
(先着順に受け付け、定員に達し次第受付終了)

◆ヤギにクリスマスツリーをプレゼント

12月23日(水祝) 10:30～飾り付け / 15:30～プレゼント

(ヤギは申込不要)

到津の森のクリスマスフェア

森の仲間たち・たぬき

ぽんぽこ庭情報

こんにちは、タヌキ担当の中嶋です。

現在、ぽんぽこ庭にはポンくんときょうこちゃん、2頭のタヌキが暮らしています。私が到津の森公園に入社したのとほぼ同時にやってきたので、同期のような親しみがあります。ポンくんもきょうこちゃんも、来た頃はやんちゃで、仲間とよくケンカしたりと、頭を悩ませられることもありました。そんな2頭との付き合いも今年で10年目になりました。2頭とも顔に白い毛が増えたり、目が見えにくくなってきて高齢を迎えました。

今はまだ食欲があって元気はあるものの、ぽんぽこ庭での暮らしが困難になる前に、バックヤードで暮らすことが決まりました。ぽんぽこ庭で2頭を見られなくなるのは私にとっても寂しいことですが、今後はバックヤードでのんびりと過ごしてもらえたらと思います。

可愛がってくださったみなさまありがとうございました。

今後のぽんぽこ庭には、徳山動物園から今年生まれの3頭のタヌキがやってきます。新しい子たちの紹介は、また今度させていただきたいと思います。

今後も到津の森公園のタヌキたちをよろしく願います。



飼育展示係 中嶋 麻海 (写真 右:ポンくん、左:きょうこちゃん)

花曆 師走

師走の声を聞くころになると、野山の野生植物の花の姿はめっきり寂しくなってきます。

こんな花の少ない寂しい林の奥に射し込む日を浴びて、目立つのは、ヤツデ（ウコギ科）の白い花の塊でしょう。

“八つ手”の名の通り大きな分厚い葉は濃い緑色でテラテラひかり、8～9の深い切れ込みが入る姿は、まさに“天狗のうちわ”の別名を思い起こさせます。

西日本では野山だけでなく、路地の片隅や玄関先、はたまたトイレの目隠しに、どこでもお目にかかる当たり前すぎてあまりきかけられない植物のイメージがありますね。日本原産ながら今日では鉢物や庭木として世界的な観葉植物になっているようです。

園芸種もあるということで園内のヤツデを見ると、なるほど葉の切れ込みの浅いもの・色が薄いもの・柔らかめなど、個体差ではなく品種かなと思える姿がありました。

ヤツデの面白い個性としては、一つの花の雌雄が変化することです。径5mm位の白い花の塊が球状に集まって咲きますが、雄蕊が熟して花粉をだす（雄性期）蜜も出して虫を呼び花粉を他の花に運んでもらう。その後雌蕊が成熟して（雌性期）また虫を呼び他の花の花粉をつけてもらい、近親交配の危険を防いでいるのです。

虫たちにとってこの時期の蜜は貴重なもの、また黒熟した実はヒヨドリやツグミに食べられ、次世代のヤツデが芽吹きます。

このヤツデに似て更に大きな葉をつけるカミヤツデは紙の材料として台湾より取り入れた外来種ですが、北九州では減っている気がします。伊豆方面等では生態系を乱すとして盛んに伐採されているようです。

文：花咲くおばさん